

流川・薬研堀地区のまちづくり整備方針（概要版）

〈まちづくりの目標〉

出 会 い、賑 わ う 食 楽 の 都 流 川

～瀬戸内の味覚と美酒 あふれる自由空間 人が輝き くらしも笑顔～

1	まちづくり整備方針策定の目的		P. 1
2	目標及びその達成時期		P. 1
3	流川・薬研堀地区の担う役割		P. 1
4	調査や計画策定の経緯		P. 2
5	まちづくり整備方針の構成の考え方		P. 3
6	まちづくりの目標の設定		P. 4
7	具体的な整備目標の設定		P. 5
8	具体的な整備目標の設定における「地元主体の取組（ソフト）」について		P. 6
9	具体的な整備目標の取組イメージ（第1ステージ）		P. 7
10	具体的な整備目標の取組イメージ（第2ステージ）		P. 8
11	参考：まちづくり整備方針策定までの流れ		P. 9
12	参考：流川・薬研堀地区の概要		P. 10
13	参考：流川・薬研堀地区の健全で魅力的なまちづくり協議会参画者名簿		P. 14

平成20年（2008年）5月

流川・薬研堀地区の健全で魅力的なまちづくり協議会

1 まちづくり整備方針策定の目的

中四国地方最大の繁華街、歓楽街である流川・薬研堀地区について、安全で、だれもが、安心して楽しむことができる健全で魅力的なまちの実現を図るため、地元の意向等を踏まえ、通りの特色や地区の資源などを生かしながら、中・長期的なまちづくり整備方針を策定する。

2 目標及びその達成時期

平成 19 年(2007 年) 5 月、本協議会では、ワーキンググループを中心に協議・検討を重ね、現状の課題に対して必要な防犯対策とまちづくりを展開していくなかで、短期的な取組としての推進計画（計画期間：概ね 5 年）を策定した。

しかしながら、流川・薬研堀地区を、安全でだれもが安心して楽しむことができる健全で魅力的なまちにしていくためには、長期的な視点に立った目標を設定し、共通の目的を持って着実にまちづくりを進めていくことが必要である。

このため、地元の意向を踏まえ、地区の特色等を生かした、中・長期的なまちづくりの整備方針を策定するものであるが、常にスピード感を持って取り組んでいくことを基本とし、整備方針の取組や成果を評価・検証し、見直しを加えていく観点から、中期と長期の 2 段階の目標時期を設定する。

《目標時期》	
平成 3 0 年(2018 年) 頃	と 平成 4 0 年(2028 年) 頃
《中期：概ね 10 年先》	《長期：概ね 20 年先》

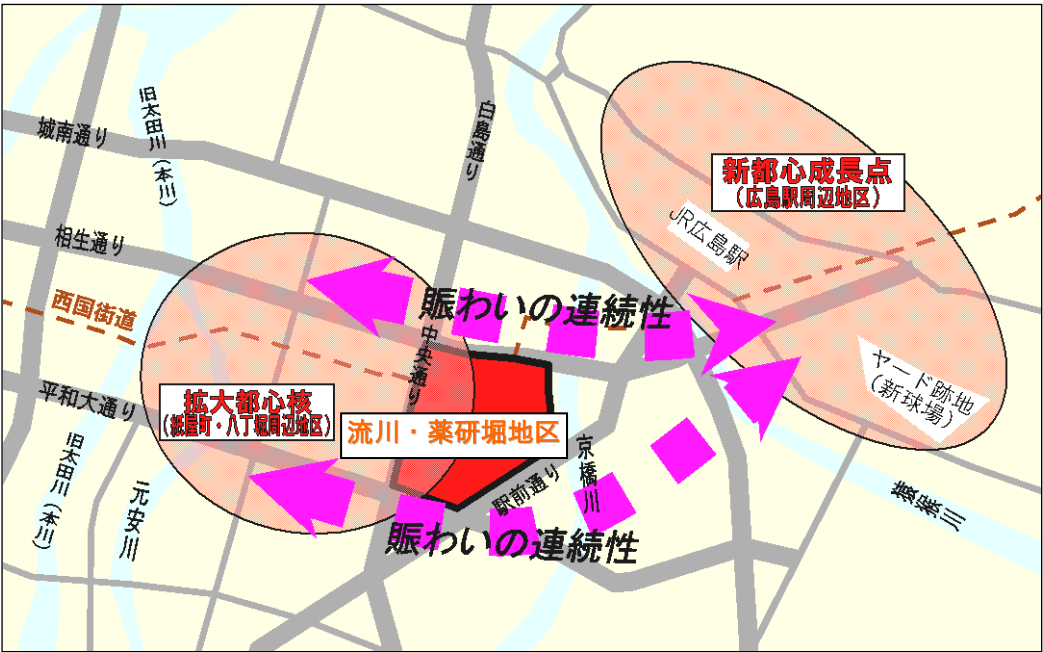
3 流川・薬研堀地区の担う役割

現在の流川・薬研堀地区は、主に夜の飲食街地区として賑っているが、人々のライフスタイルや余暇の多様化・充実化に応えるとともに、観光客やビジネス客等に対しても瀬戸内の味覚や美酒を味わってもらうなど、一層広島を魅するエリアとして発展していく必要がある。

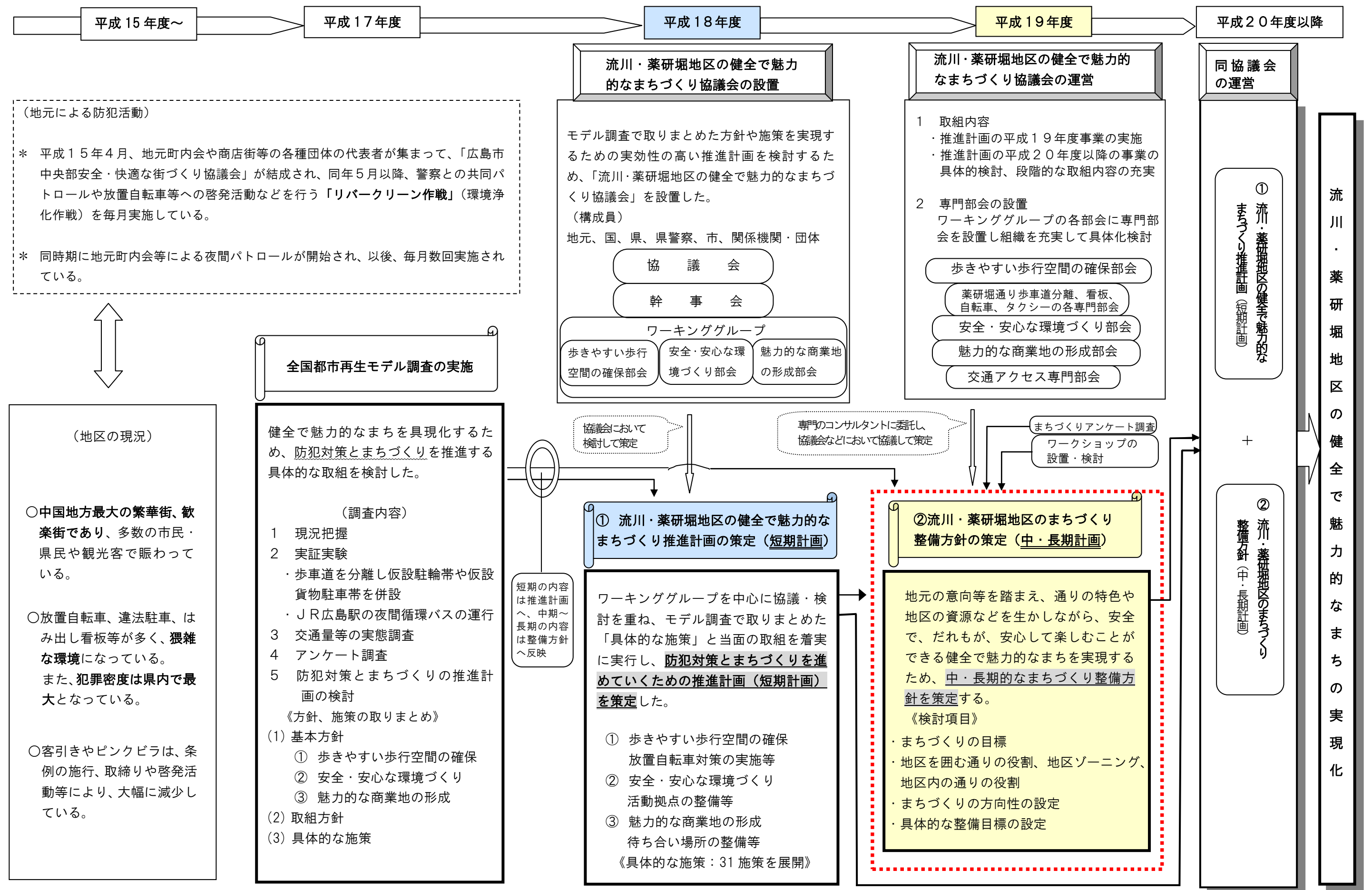
また、広島市では、商業業務地である紙屋町・八丁堀を中心とした「拡大都心核」と広島駅を中心とし、同駅周辺の大規模な再開発や平成 21 年（2009 年）春に完成予定の新球場を含む「新都心成長点」の二つの地区を広島の活性化を図る重点地区として、様々な取組を進めるとともに、両地区の活性化の相乗効果を引き出すことが必要となっている。

そのような中で、流川・薬研堀地区は、この二つの重点地区の間に位置し、飲食を通じてこれら
を結び、賑わいを高めるポテンシャルに満ちた全国的にも知名度の高い飲食街地区であり、両地区
の賑いの連続性を高め活性化の相乗効果を引き出すことによって、安全で安心な広島発展と魅力
化に貢献する地区としての役割を担う。

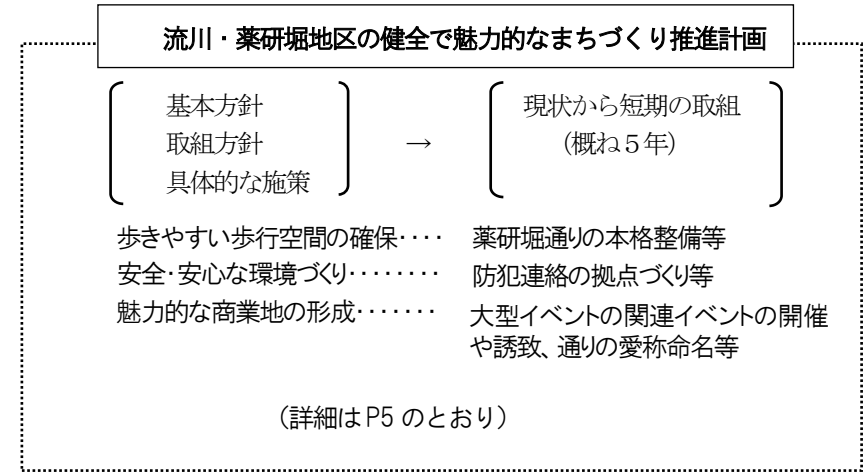
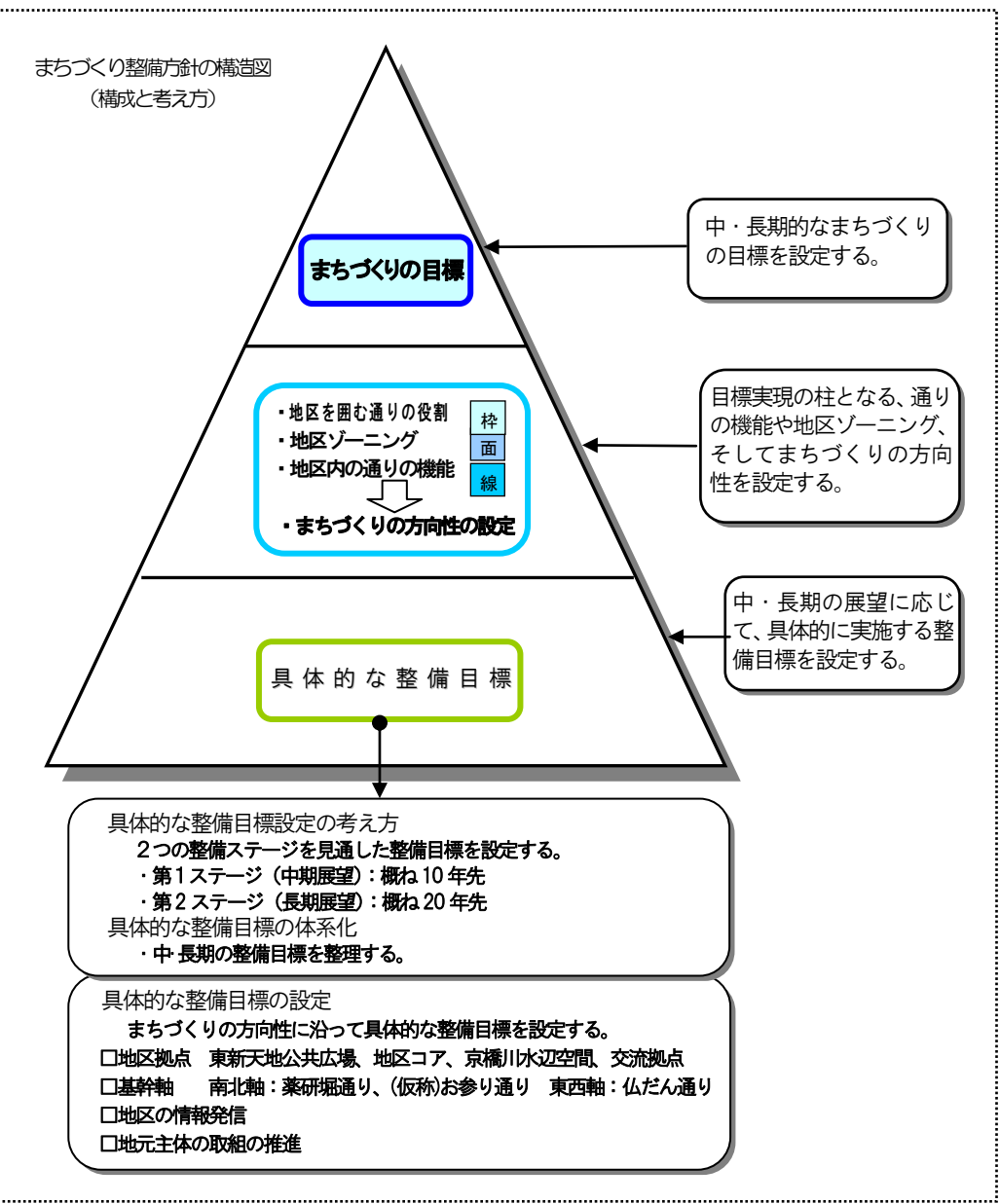
【流川・薬研堀地区の担う役割の概念図】



4 調査や計画策定の経緯



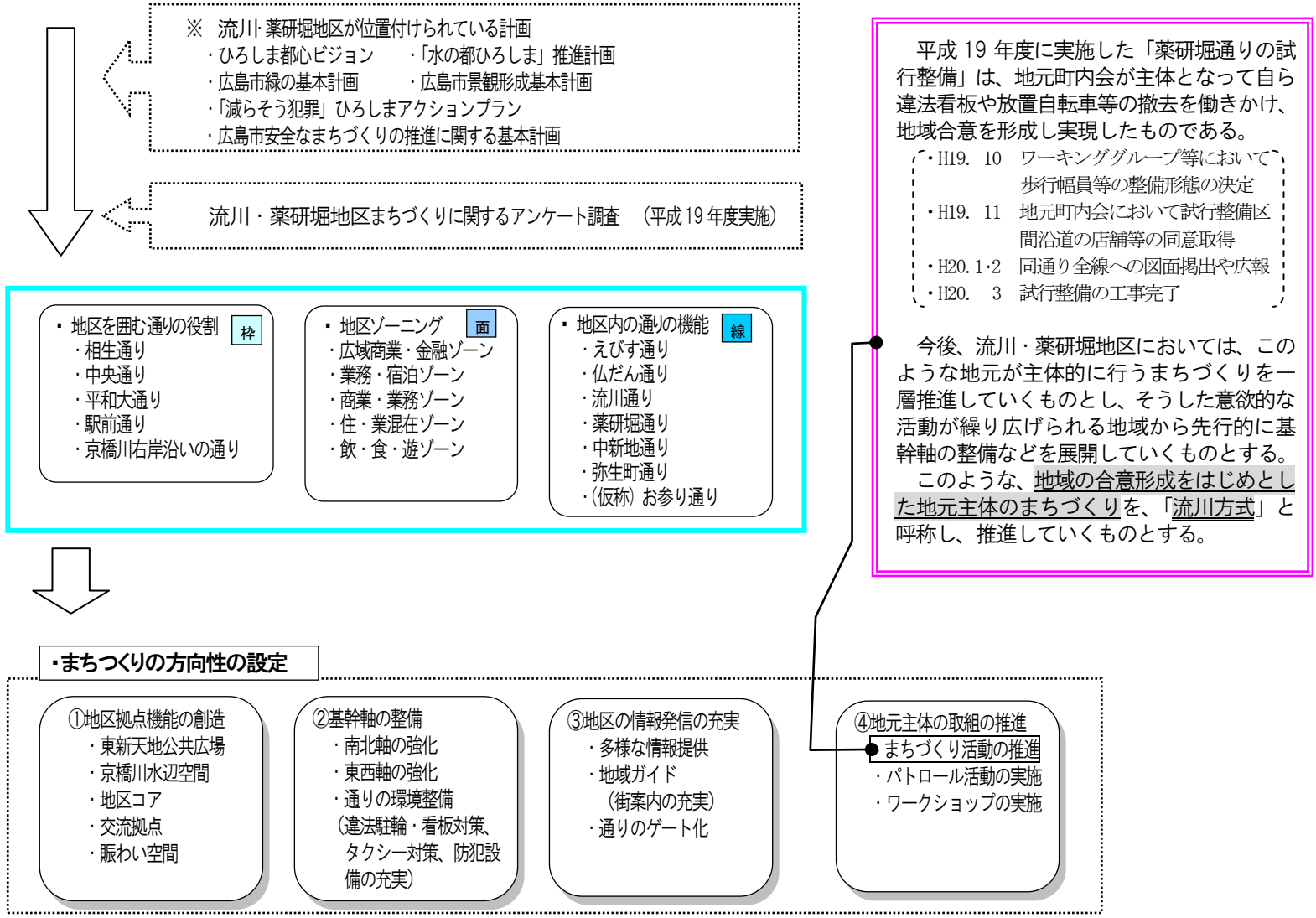
5 まちづくり整備方針の構成の考え方



事業の継続と発展

まちづくりの目標

出会い 賑わう 食楽の都 流川
～ 瀬戸内の味覚と美酒あふれる自由空間 人が輝き ぐらしも笑顔 ～



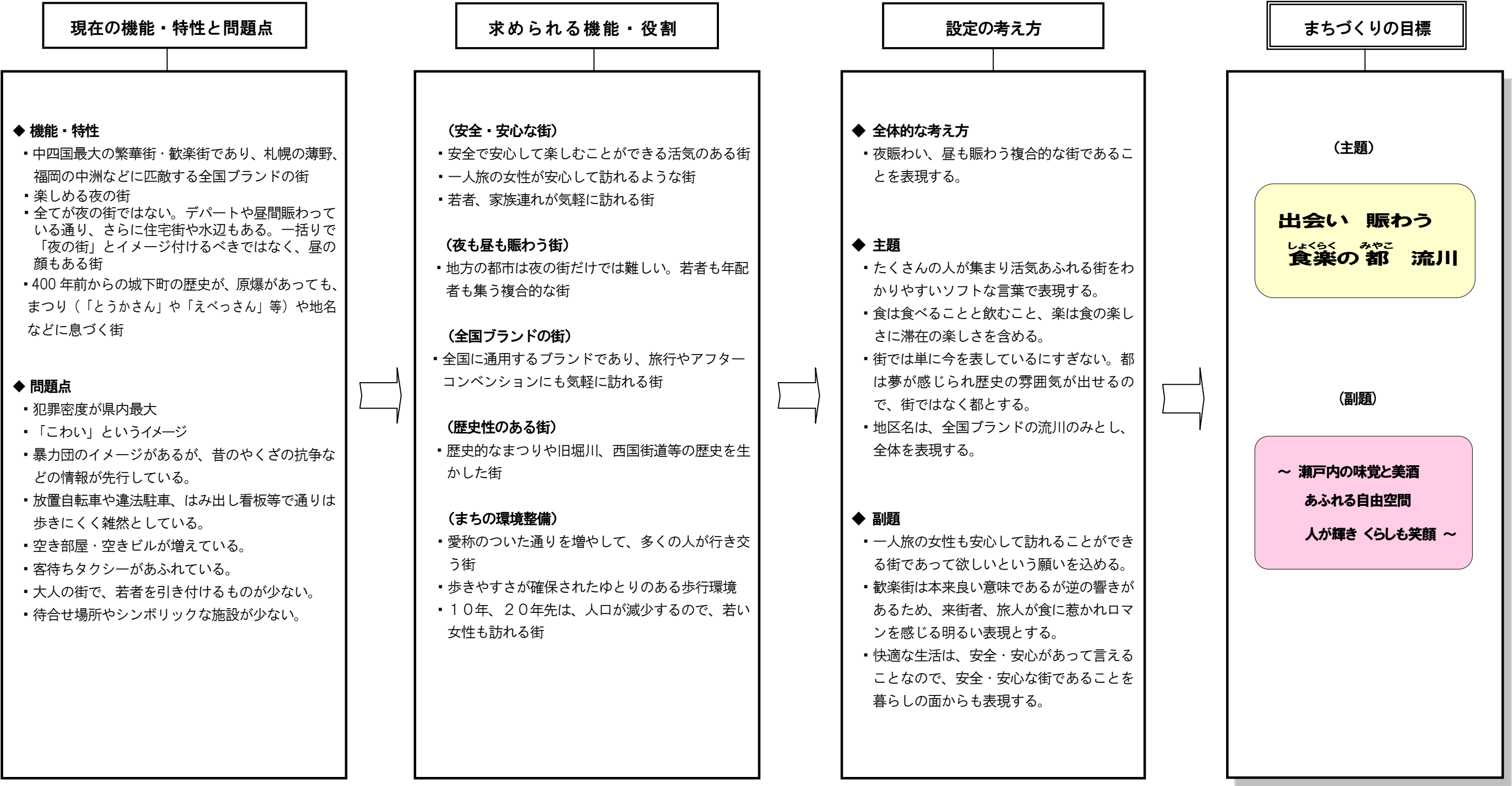
平成19年度に実施した「薬研堀通りの試行整備」は、地元町内会が主体となって自ら違法看板や放置自転車等の撤去を働きかけ、地域合意を形成し実現したものである。

・H19. 10 ワーキンググループ等において歩行幅員等の整備形態の決定
・H19. 11 地元町内会において試行整備区間沿道の店舗等の同意取得
・H20. 1・2 同通り全線への図面掲出や広報
・H20. 3 試行整備の工事完了

今後、流川・薬研堀地区においては、このような地元が主体的に行うまちづくりを一層推進していくものとし、そうした意欲的な活動が繰り広げられる地域から先行的に基幹軸の整備などを展開していくものとする。

このような、地域の合意形成をはじめとした地元主体のまちづくりを、「流川方式」と呼称し、推進していくものとする。

6 まちづくりの目標の設定

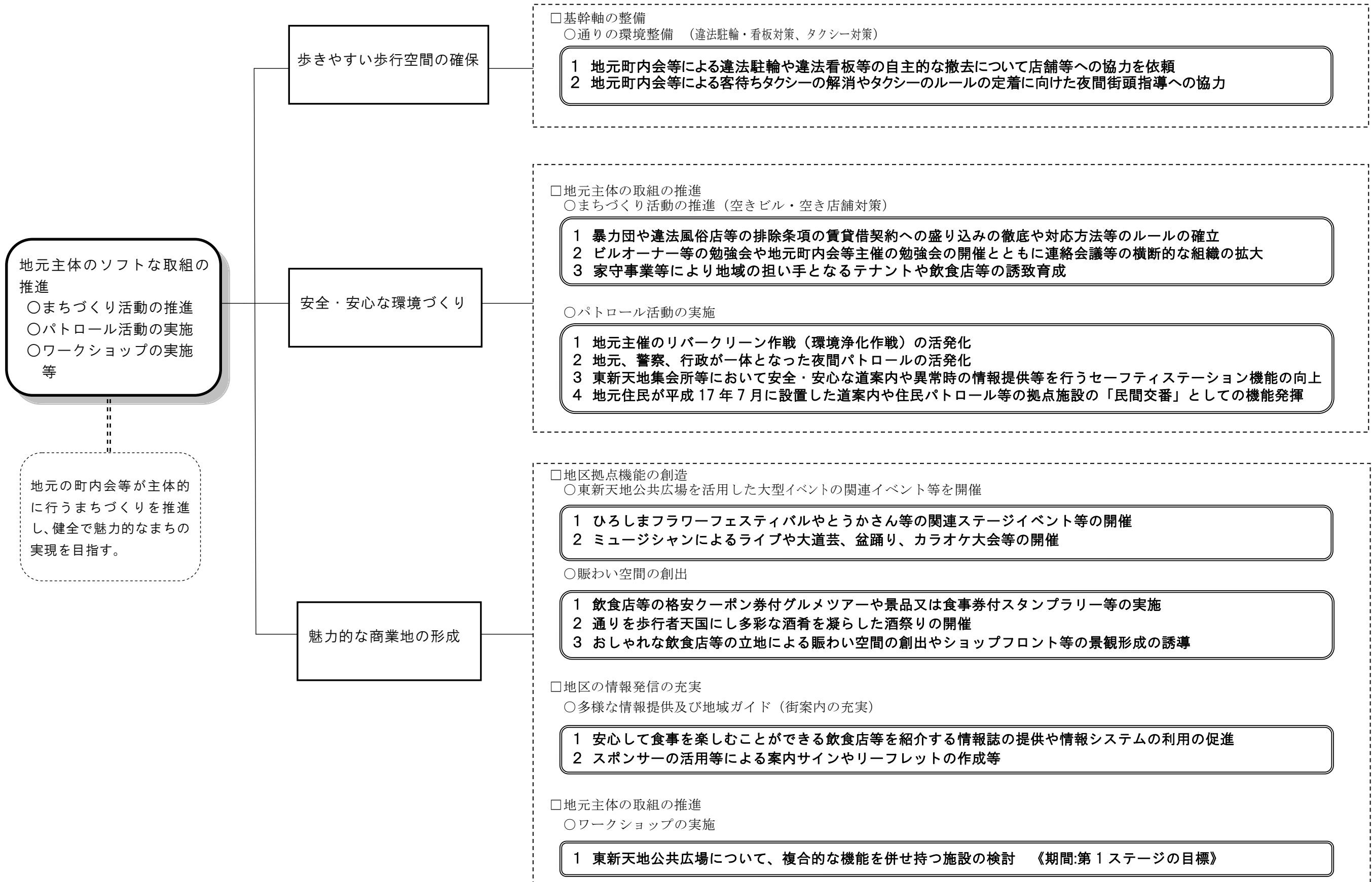


7 具体的な整備目標の設定



8 「具体的な整備目標の設定」における「地元主体の取組（ソフト）」について

《 目標の期間：第1ステージ（概ね10年先）～第2ステージ（概ね20年先） 》



9 具体的な整備目標の取組イメージ（第1ステージ）

《第1ステージ》

中期：概ね10年先のイメージ

歩きやすい歩行空間の確保（地区全体）

- 地元主体の取組の推進
 - まちづくり活動の推進（「流川方式」の運用）
- 基幹軸の整備
 - 通りの環境整備
 - ・公共用地等への駐輪場整備と自転車等放置規制区域の拡大
 - ・タクシー乗り場や待機場の整備と夜間街頭指導

安全・安心な環境づくり（地区全体）

- 地元主体の取組の推進
 - まちづくり活動の推進（「流川方式」の運用）
 - ・空きビル・空き店舗対策
 - パトロール活動の実施
- 基幹軸の整備
 - 通りの環境整備
 - ・防犯設備の充実

魅力的な商業地の形成（地区全体）

- 地元主体の取組の推進
 - まちづくり活動の推進（「流川方式」の運用）
- 地区拠点機能の創造
 - （エントランス機能の創造）
 - 賑わい空間の創出
 - ・おしゃれな飲食店等の立地促進
- 地区の情報発信の充実
 - 地域ガイド（街案内の充実）
 - ・案内サインやリーフレットの作成
 - ・情報発信等

- 南北軸の強化
 - ・（仮称）お参り通りの歴史的景観等の整備（第2ステージでの実施も視野）

- 地区拠点機能の創造
 - ・東新天地公共広場の活用・大型イベントの関連イベント開催（パフォーマンス、カラオケ、盆踊り等）
 - ・東新天地集会所等におけるセーフティステーション機能の整備（安全・安心なまち案内等）
 - ・東新天地公共広場周辺におけるエントランス機能の整備（歴史・文化を演出する街路灯の設置等）

- 客待ちタクシー対策
 - ・タクシー乗り場や待機場の整備、夜間街頭指導や取締り

- 街案内の充実
 - ・（仮称）お参り通りや東新天地公共広場の愛称を記載した案内サインやパンフレットの作成等

- 賑わい空間の創出
 - ・空き店舗対策等によるおしゃれな飲食店等の賑わいの創出

- 地区拠点機能の創造・活用
 - ・相生通り西側（八丁堀交差点付近）の交流拠点の創造（案内サインの設置やガイドマップの配布等によるエントランス機能の創造）

- 東西軸の強化
 - ・仏だん通りのカラー舗装等の整備（第2ステージでの実施も視野）

- 地区拠点機能の創造・活用
 - ・地区コアのシンボル性の創出（交差点部や修景舗装、ライトアップの整備等）

- 地区拠点機能の創造
 - ・相生通り東側（稻荷大橋西詰め）への案内サインやモニュメントの設置等による交流拠点機能の創造（トイレの美装化等によるエントランス機能の創造）

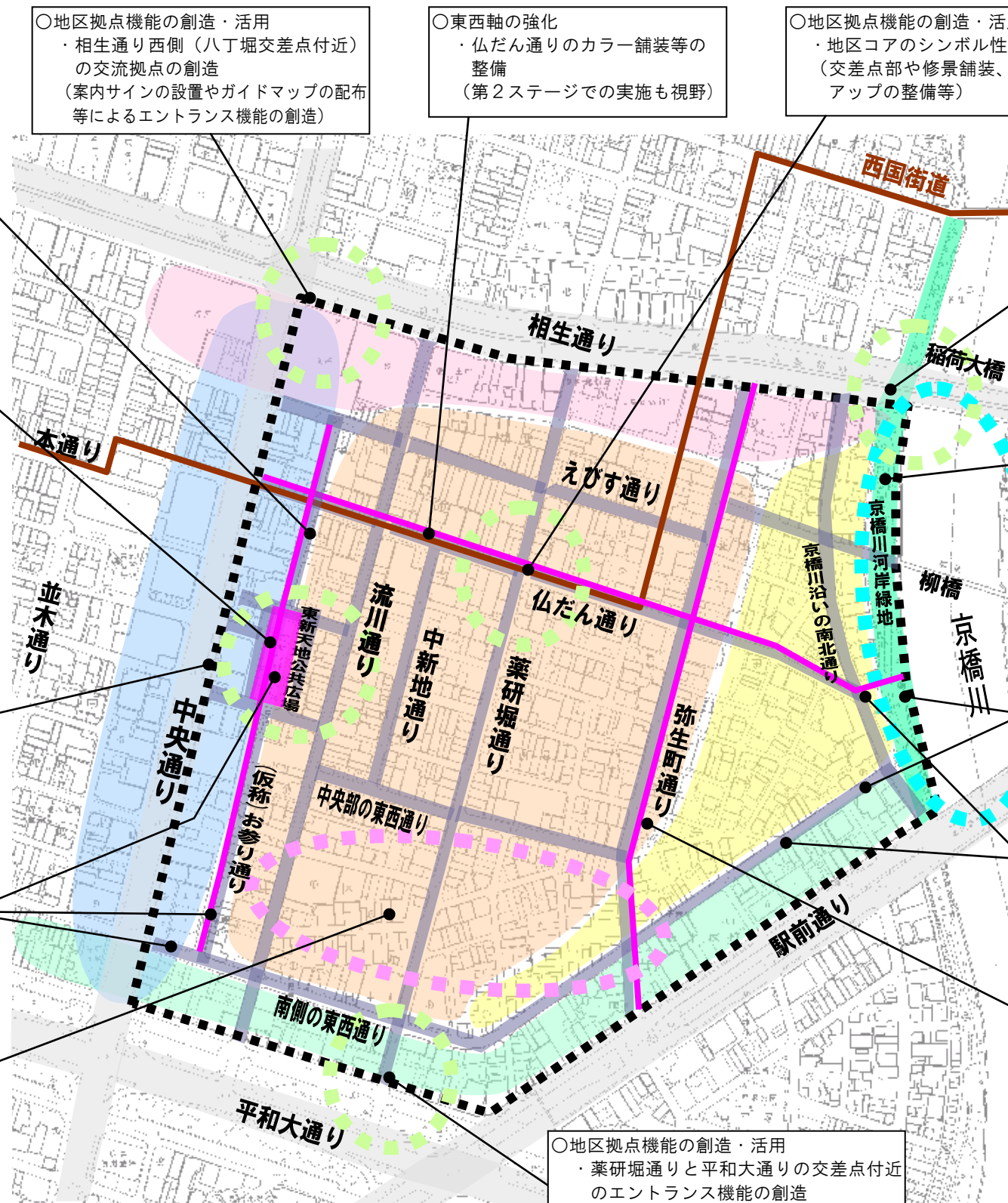
- 京橋川水辺空間の創造
 - ・河岸緑地の整備とオープンカフェの出店による賑わいの向上
 - ・緑の潤い空間の向上等

- 街案内の充実
 - ・京橋川沿いの南北通りや同右岸緑地の愛称を記載した案内サインやパンフレットの作成等

- 防犯設備の充実
 - ・防犯灯の整備等

- 南北軸の強化
 - ・弥生町通りの歩車分離等の整備（第2ステージでの実施も視野）

- 地区拠点機能の創造・活用
 - ・薬研堀通りと平和大通りの交差点付近のエントランス機能の創造（ひろしまドリミネーションから歩行者を導く光のモニュメントの設置等）



出会い 賑わう 食楽の都 流川
～ 瀬戸内の味覚と美酒あふれる自由空間 人が輝き 暮らしも笑顔 ～